お知らせ

＜同時資料提供先＞

令和８年 10 月 13 日

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

地方自治体が抱える施設管理の課題に対し、民間企業等が保有するシーズ技術を紹介します【傍聴参加者の募集】

～ インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」第１８回・第１９回ピッチイベントの開催 ～

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」において、地方自治体等の施設管理者が抱える施設管理の課題（ニーズ）について、民間企業等が保有する技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図るピッチイベントを以下のとおり開催します。つきましては、傍聴参加者を募集します。

■開催日時・場所

第１８回ピッチイベント：令和８年 11 月 10 日（火）13：30～16：15

第１９回ピッチイベント：令和８年 11 月 19 日（木）13：30～15：50

■開催場所

復建調査設計株式会社 別館　大会議室（オンライン併用）

広島県広島市東区光町 2-10-11

■開催内容、傍聴参加の申込要領

別添【傍聴参加者の募集】による

申込み期限：令和８年 10 月 30 日（金）

➢本ピッチイベントの開催案内、傍聴参加者の募集は、インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」のウェブサイトにも掲載されています。傍聴参加申込書のオリジナルデータはこちらからダウンロードできます。　ウェブサイト URL：https://www.cgr.mlit.go.jp/kikaku/im/index.html

➢中国地方整備局は、産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとなるインフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の取り組みを支援しています。

➢当日、取材を希望される場合は、開催日の前日までに、以下の問い合わせ先へ連絡願います。

問い合わせ先

【ピッチイベントの内容に関すること】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）

（復建調査設計株式会社）ＴＥＬ：０５０－９００２－１７４４

天満（てんま）　真士（しんじ）（E-mail：jcim-chugoku@fukken.co.jp）

【インフラメンテナンス国民会議に関すること】

国土交通省中国地方整備局　企画部　ＴＥＬ：０８２－２２１－９２３１（代表）

事業調整官　守山（もりやま）　和彦（かずひこ）（内線３１１６）

広域計画課　課長補佐　岡田（おかだ）　直人（なおと）（内線３２１２）

令和8年10月13日

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」
第18回・第19回ピッチイベントの開催
【傍聴参加者の募集】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体等の施設管理者が抱える施設管理の課題（ニーズ）について、民間企業等が保有する技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図る第18回及び第19回ピッチイベントを下記のとおり開催いたします。

各回で取り扱う施設管理者ニーズは別紙－1（第18回）と別紙－2（第19回）、シーズ提供者と技術の名称は別紙－3（第18回）と別紙－4（第19回）に示すとおりであり、傍聴参加者を募集します。

記

■ 開催日時

第18回ピッチイベント ： 令和8年11月10日（火） 13:30～16:15

第19回ピッチイベント ： 令和8年11月19日（木） 13:30～15:50

■ 開催場所

復建調査設計株式会社 別館大会議室 （オンライン併用）

（広島市東区光町2-10-11）

お問い合わせ先

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 企画委員会

天満真士、松本豊久 （復建調査設計株式会社）

E-mail ： jcim-chugoku@fukken.co.jp

TEL ： 050-9002-1744

申 込 要 領

1．申込み手続き

定　　員 ：　会場100名、オンライン100名（いずれも申込み先着順）

申込み方法 ：　傍聴参加者申込書（別紙－5）を電子メールにて申込み先に送付

申 込 み 先 ：　インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会

天満真士、松本豊久（復建調査設計株式会社）

メールアドレス：jcim-chugoku@fukken.co.jp

2．申込み期限

令和8年10月30日（金）

別紙－1

第18回ピッチイベントの施設管理者ニーズ

テーマ No. 1 ： 道路付属物のタブレット端末等を活用した点検技術
【理　由】 　職員による点検を行っている小規模付属物は、現地調査後、手入力で写真、点検結果を入力しており時間を要している。
【条件等】 ◇技術が豊富でない職員であっても現地で点検が完了できる仕様 ◇極力費用が安価な技術 ◇既存の庁内GISとの連携

テーマ No. 2 ： 路面性状調査技術	
求める技術と理由	条件等
［No.2-1］ 路面性状調査の効率化 **【理　由】** 1巡目、2巡目は業務委託にて専用車両で実施。3巡目は社会実験としてKYBのシステムで実施。しかし、MRIに留まっていることからひび割れ・轍ぼれ等の技術を確立した手法を検討中。	◇パトール車に搭載したシステムで日々のパトロールから路面性状調査を実施したい。
［No.2-2］ 路面性状調査 **【理　由】** 限られた予算の中で舗装の損傷具合や交通量及び地元要望等を踏まえて総合的に修繕箇所を判断し舗装補修を実施しているが、客観的な指標がないため優先順位付けや施工範囲の判断等に苦慮している。	◇直営の道路パトロールでも導入できるような路面性状調査システム
［No.2-3］ 舗装劣化診断の調査費 **【理　由】** 調査費が高価であり修繕費を圧迫している。	◇安価な技術

テーマ No. 3 ： 対象の橋梁・横断歩道橋の利用頻度などの把握

【理 由】

集約・撤去に向けた情報収集の方法がない。

【条件等】

◇費用を抑えた技術

◇橋長に関係なく利用頻度を把握

◇車両の種類や歩行者の区分は必須

テーマ No. 4 ： 舗装のポットホール対策

【理 由】

ポットホールを常温合材で補修しているが雨が降る度に剥がれる。

【条件等】

◇簡易で早急に施工できること

テーマ No. 5 ： 防草対策技術	
求める技術と理由	条件等
［No.5-1］ **道路の防草対策** 【理　由】 　毎年数回草刈作業が必要である。	（特になし）
［No.5-2］ **防草対策の新工法** 【理　由】 　道路通行に除草は必須だが、人件費や燃料費の増により年々財政を圧迫する上に高齢化により地元で対応できない箇所が生じてきている。	◇背丈があまり成長しない植物を採用し直営で簡易に施工できる植生シート等の開発

第19回ピッチイベントの施設管理者ニーズ

テーマ No. 1 ： 樹木の診断技術	
求める技術と理由	条件等
[No.1-1] 樹木の不可視部分の簡易診断 【理 由】 樹木の空洞化など職員の点検で異常を見抜くことが困難である。	◇画像等により機械的に診断ができる ◇極力安価な技術
[No.1-2] 倒木する恐れがあるものを事前検出 【理 由】 道路上に倒木が発生すると通行の妨げになる。	◇道路パトロール中に点検できる技術 ◇点検記録を保存できる ◇街路樹以外の樹木も対象としている
[No.1-3] 密集化、高木化した樹木や広範囲の自然林等の点検・診断技術 【理 由】 人による点検・診断は物理的な確認の難しさに加え多大な労力と時間を要する。	◇密集木や高木のドローンなどによる空中からの点検・診断
[No.1-4] 緊急時に樹木医等の専門的な判断を仰ぐことなく職員点検等で樹木の状態を簡易的に把握し樹木の伐採判断する技術 【理 由】 ・樹木の老木化が進んでいる。 ・樹木の状態を簡易的に把握する方法がない。	◇ポータブル機器等で定量的に職員点検等で樹木の状態を把握

テーマ No. ２ ： 学校施設の建築基準法第12条点検における軒裏、渡り廊下天井裏、
ベランダ裏のコンクリートの劣化状態を迅速に点検するための技術の向上

【理 由】

・外壁だけでなく渡り廊下天井裏のコンクリート劣化状態を把握するために点検精度を挙げるか別の手法により解決してほしい。

・高所の目視、打診の限界、軒裏コンクリート打放し部への赤外線活用不可のため爆竹箇所への見落としが出てしまう。

【条件等】

◇精度のよい点検手法の確立

テーマ No. ３ ： ため池堤体の草刈り

【理 由】

ため池の堤体法面の草刈りを行いたいが足場が悪く危険を伴うため引き受け手が少なく苦慮している。

【条件等】

◇急な法面（30° 以上）で安全に草刈りを実施できる方法

◇労力的にそこまで負担がかからないアイデア

テーマ No. 4 ： EBPMに基づく計画立案

【理 由】

ストック効果を最大化するためにインフラメンテナンスに取組んできているが、そもそもストックの評価が曖昧である。そこで、ストックの算定が必要と考える。その上で、政策的根拠のある指標にて集約、撤去の合意形成を図りたい。

【条件等】

◇EBPMに基づく指標となるように算定基準を求める。

◇インフラメンテナンス、インフラマネジメントと連携の取れる指標としたい。

◇長寿命化修繕計画に反映したい。

テーマ No. 5 ： 河川・水路の土砂堆積を簡単に把握するシステム

【理 由】

現状では現地で突き棒で水路底を突いて土砂の厚みを把握する方法であるが、土砂厚みを自動で把握してかつデータ整理、土砂撤去の優先順位付けまでできるシステムができないか。

【条件等】

（特になし）

第18回ピッチイベント　テーマごとのシーズ提供者と技術の名称

テーマNo.	ニーズ	シーズ提供者	技術の名称
No. 1	道路付属物のタブレット端末等を活用した点検技術	株式会社エアーム	インフラ構造物の調査点検・維持管理ソリューション Panoca
No. 2	路面性状調査技術	西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	簡易路面調査システム　スマートイーグル
		JIPテクノサイエンス株式会社	スマートフォンによる路面性状評価システム「DRIMS」
		株式会社三建技術	一歩感舗
No. 3	対象の橋梁・横断歩道橋の利用頻度などの把握	株式会社コクリエ	車両・人／自転車の利用頻度計測
No. 4	舗装のポットホール対策	竹内工業株式会社	アスファルト加熱保温BOXを用いたポットホール補修技術
		株式会社NIPPO	レミファルトシリーズ
No. 5	防草対策技術	ケルヒャージャパン株式会社	温水除草システム
		日本雑草防止工法研究会	雑草防止工法

第19回ピッチイベント　テーマごとのシーズ提供者と技術の名称

テーマNo.	ニーズ	シーズ提供者	技術の名称
No. 1	樹木の診断技術	株式会社ワールド測量設計	打撃音樹内腐朽簡易診断装置「ぽん太」
		西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	樹木点検システム「RTチェッカー」
No. 2	学校施設の建築基準法第12条点検における軒裏、渡り廊下天井裏、ベランダ裏のコンクリートの劣化状態を迅速に点検するための技術の向上	株式会社エアーム	インフラ構造物の調査点検・維持管理ソリューション Panoca
No. 3	ため池堤体の草刈り	株式会社ダイクレ	簡易足掛け材「ノボルンダー」
No. 4	EBPMに基づく計画立案	株式会社福山コンサルタント	モバイルGPSデータを活用した橋梁の集約・撤去候補抽出技術
		株式会社ヴェルト	xCausal®（クロス・コーザル）
No. 5	河川・水路の土砂堆積を簡単に把握するシステム	小川登至也	水上トロリーユニット構想

別紙－５

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」
第18回・第19回ピッチイベント
傍聴参加者申込書

令和　８　年　10　月　　日

参　加　希　望	□　第18回ピッチイベント（令和8年11月10日）　会場　・　WEB		
	□　第19回ピッチイベント（令和8年11月19日）　会場　・　WEB		
フ　リ　ガ　ナ			
企業・団体 名　　称			
フ　リ　ガ　ナ			
参　　加　　者			
フ　リ　ガ　ナ		フ　リ　ガ　ナ	
所　　属		役　　職	
フ　リ　ガ　ナ	〒		
所　　在　　地			
連　　絡　　先 メールアドレス			
電　話　番　号			

注意事項

1. 申込みの際の電子メールの件名は、「ピッチイベント傍聴参加者申込み」としてください。
2. 参加形式は、会場またはWEBを指定してください。
3. ご記載いただいた個人情報は、ご本人の同意なく当ピッチイベント以外で利用することはありません。